

# 読んでみよう 解いてみよう せん太のワークシート

サッカーJ2・ファジアーノ岡山の試合観戦者に、徒歩や公共交通機関での来場を呼び掛けるプロジェクトが、2021年度版の国土交通白書で紹介されました。記事を読み、質問に答えましょう。

## ファジウォーカープロジェクト

## 国土交通白書で紹介

公共交通や徒歩で来場「地球にやさしい」

サッカーJ2・ファジアーノ岡山が、シテライトスタジアム（岡山市）でホームゲームを行う際、サポートに徒歩や公共交通機関での来場を呼び掛ける「ファジウォーカープロジェクト」が、2021年版の国土交通白書で紹介された。

白書の第1部第3章「豊かな未来の実現に向けて」で、コラム「人・地域・地球にやさしい」が掲載された。試合当日、観戦者の自家用車でスタジアム周辺が渋滞する課題の解決に向け、プロジェクトが16年に立ち上がったことを説明。動画制作のほか、車で来た観戦者に声をかけ、移動手段の転換を考へてもらう取り組みが「最も成果があった」として削減につながった。

制作のほか、車で来た観戦者に声をかけ、移動手段の転換を考へてもらう取り組みが「最も成果があった」として削減につながった。

19年の調査では11%が手段を変え、年間21試合で「4175台の削減につながった」。

公共交通機関の利用者はJR岡山駅周辺の店舗に「立ち寄る割合が1.2〜1.9倍多くなる」ことも報告。「こうした取り組みが全国で進むことが期待される」と結んでいる。

国土交通白書に掲載されたファジウォーカープロジェクトのコラム（国土交通省提供）

国土交通省 2021

クラブや岡山大、岡山道事務所でつくる実行委員会の氏原岳人（同大准教授）は「取り組みが評価されてうれしい。今後もスタジアム周辺のさらなる活性化を図りたい」と話している。

（梶山瑞弓）

Q1



白書で紹介された「ファジウォーカープロジェクト」が立ち上げられた理由は何でしょうか。第3段落から読み取りましょう。

Q2



このプロジェクトを実施したことで、どのような成果がありましたか。第4段落を参考に答えましょう。

Q3



自家用車ではなく、徒歩や公共交通機関で移動することで、地域や地球にどんな良い効果があると思いますか。周りの人と話し合ってみましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。

こんな取り組みが全国で広がるとうれしいな

